

食べて歩いて、健康になろう!

あの街“おいしい”ウォーキング

もののけの歴史が根付く町

『三次市』

《稲生物怪録》の舞台となった地

家族で楽しみたいもののけウォーキング

バス停 太才神社からまず向かうのは、毎年「三次物怪まつり」が開かれる太才神社。近くにある酒蔵の跡地を改装した卑弥呼蔵(旧万寿乃井酒造)にも立ち寄って、《稲生物怪録》に登場する比熊山を眺めていこう。その後、湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)で楽しく妖怪について学んだら、辻村寿三郎人形館(三次市歴史民俗資料館)にも立ち寄ろう。住吉神社に参拝したら、三次の夏の風物詩・鵜飼が行われる馬洗川を眺めつつ、バス停 巴橋へと向かう。

歩く時間:29分 歩く距離:2,315m

消費カロリー:122kcal

1 太才神社

江戸時代に描かれた物語《稲生物怪録》に登場する古刹。漫画「朝霧の巫女」の舞台にもなった。



☎0824-62-3732
📍三次市三次町1111

2 卑弥呼蔵(旧万寿乃井酒造)

国登録有形文化財の大蔵を中心に喫茶去「方mann茶房」、小宿「青猫」、町屋宿「虚空」、焼菓子店「muk」がある。



☎0824-63-1713
📍三次市三次町1143-3

3 湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)

日本初の「妖怪博物館」。《稲生物怪録》と約5,000点の湯本豪一コレクションの中から選出した資料を展示する。



☎0824-69-0111
📍三次市三次町1691-4

4 辻村寿三郎人形館(三次市歴史民俗資料館)

幼少期を三次市で過ごした世界的人形作家・辻村寿三郎の作品を多数展示している。建物は国の登録有形文化財。



☎0824-64-1036
📍三次市三次町1236

5 住吉神社

日本神話に登場する航海の神で住吉大明神といわれる底筒之男神、中筒之男神、上筒之男神の三男神を祀る神社。



📍三次市三次町1266-1



泡雪

三次市のおいしいもの

みよしブランド認定品。卵白、砂糖、寒天のみで作られたシンプルな和菓子で、歴史ある三次銘菓のひとつ。元祖とされる和菓子の老舗「東地屋」の泡雪は、1855年(安政2年)の創業当時と変わらない製法で、すべて手作りされている。



泡雪1個あたり
約150kcal

今回のウォーキングで
122kcal消費 = 約0.8個分
※一般的な水ようかん1個(211g)あたりで算出

凡例	
	おすすめ立ち寄りスポット
	県道
	主要道
	登り坂
	下り坂
	トイレ
	国道
	一般道



※時間・距離は目安です ※消費カロリーは体重60kgの人が分速80mで平地を歩いた場合の総計距離で算出しています